

穴吹川の潜水橋

増水時、橋が水面下に沈む潜水橋。民家と段々畑を対岸に控え、集落の暮らしをつなぐ風景は四国ならではの情緒で、いつ訪れても心が癒やされます。

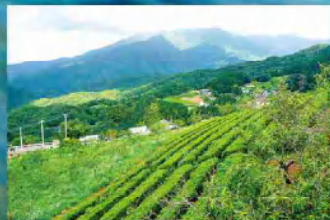
なつかしさの中に抱かれた
自然の恵みが豊かにあふれる郷土・美馬市。

潤いと 恵みの 風景

彩りゆたか



日常の糧を与え続ける畑田の突り



素朴な風情が今も残る山里

平成17年(2005)3月、船町、美馬町、穴吹町、木屋平村の4町村の合併によって誕生した美馬市。徳島県の西部に位置し、豊かな自然と数多くの文化財が残るまちです。

四国三郎の別名を持つ吉野川が市のほぼ中央を東西に流れ、日本一の清流、穴吹川など、幾多の川が吉野川に流れ込んでいます。また、阿讃山脈や剣山といった山々に抱かれ、日本の原風景ともいえる山里の風景がたずんできます。

清流によって育まれた肥沃な土地と、かつての水運がもたらした繁栄。そして、緑深い山里に拓かれた田園と豊かな実り。山と川が彩る安らぎの風景の中、そこに人が暮らし、潤いと恵みを皆で分かち合い、美しいふるさとが守り抜かれてきました。四季の移ろいが魅せる二つ二つの季節の表情と、そこから生まれるあまたの恵みには、ふるさとのやさしく、あたたかい心を感じ取ることができます。山と川の豊かな恵みと潤いが「まほろば」に生きる幸せを教えてくれます。